

資料Ⅱ-1

医療事故調査制度研修会（日本歯科医師会）

アンケート

平成28年10月29日（土）

データ提供： 一般社団法人 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）

医療事故調査制度研修会（日本歯科医師会） アンケート

本日は、ご参加いただきましてありがとうございます。事務局では、今後の「研修会」を充実させるために、参加者の皆様のご意見を参考にさせていただきたいと思っております。以下のアンケートへご回答の上、お帰りの際に受付で回収させていただきます。

○ご所属について、あてはまるものに○をつけて下さい。

- ・ 医療事故調査等支援団体
- ・ 医療機関 （ 歯科診療所 ・ 病院 ）
- ・ その他 （
- ）

（Q1）本研修会のそれぞれの講義の理解度についておたずねします。下記の番号の中からあてはまる番号に○をつけて下さい。

講 義 名	理解 できなかった	あまり理解 できなかった	まあまあ 理解できた	理解 できた
医療事故調査制度について	1	2	3	4
制度開始一年の現状と医療事故調査・支援センターの目的と役割	1	2	3	4
調査・支援の流れ	1	2	3	4
歯科における対応事例 1) 診療所における対応事例	1	2	3	4
歯科における対応事例 2) 病院における対応事例	1	2	3	4
ビデオ研修（聞き取り）	1	2	3	4
グループワーク	1	2	3	4
発表	1	2	3	4
総括	1	2	3	4

（Q2）医療事故調査制度の支援団体の方は、日頃お悩みのこと、困っていること、医療機関の方は本日の講習を受けて改めて今後気がかりとなる点がありましたら、お聞かせください。

裏面に続きます↓

(Q3) 本研修会のそれぞれの講義・演習のそれぞれの講義の有用度についておたずねします。支援団体の方は今後の支援団体の活動に、医療機関の方は今後の対応にどの程度役立つと思われますか。下記の番号の中であてはまる番号に○をつけて下さい。

講義名	役立つ ない	あまり 役立つ ない	まあまあ 役立つ	役立つ
医療事故調査制度について	1	2	3	4
制度開始一年の現状と医療事故調査・支援センターの目的と役割	1	2	3	4
調査・支援の流れ	1	2	3	4
歯科における対応事例 1) 診療所における対応事例	1	2	3	4
歯科における対応事例 2) 病院における対応事例	1	2	3	4
ビデオ研修 (聞き取り)	1	2	3	4
グループワーク	1	2	3	4
発表	1	2	3	4
総括	1	2	3	4

(Q4) 研修を受けて、明日から実践できそうなことはなんですか。

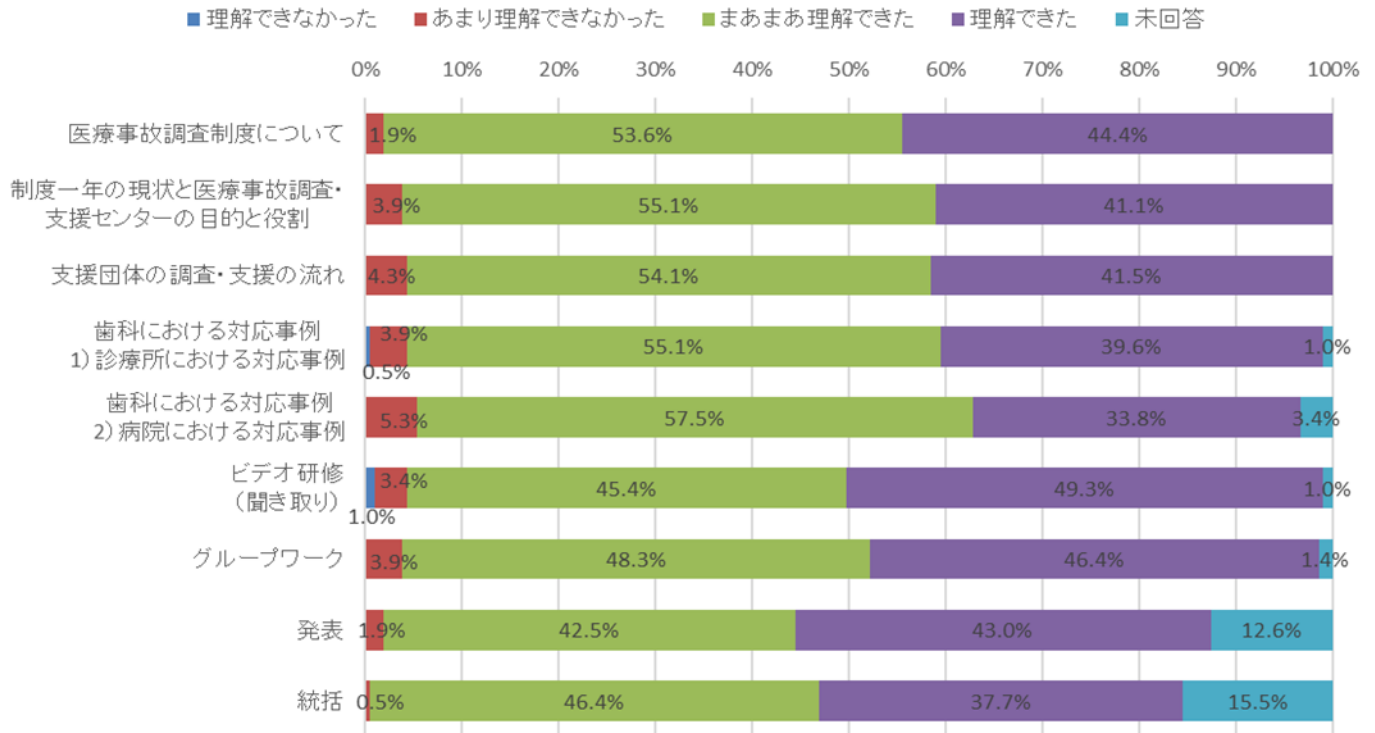
(Q5) 講義の進行・運営について、ご意見がありましたら、お聞かせください。

(Q6) 今後の研修に取り入れてほしいことがありましたら、お聞かせください。

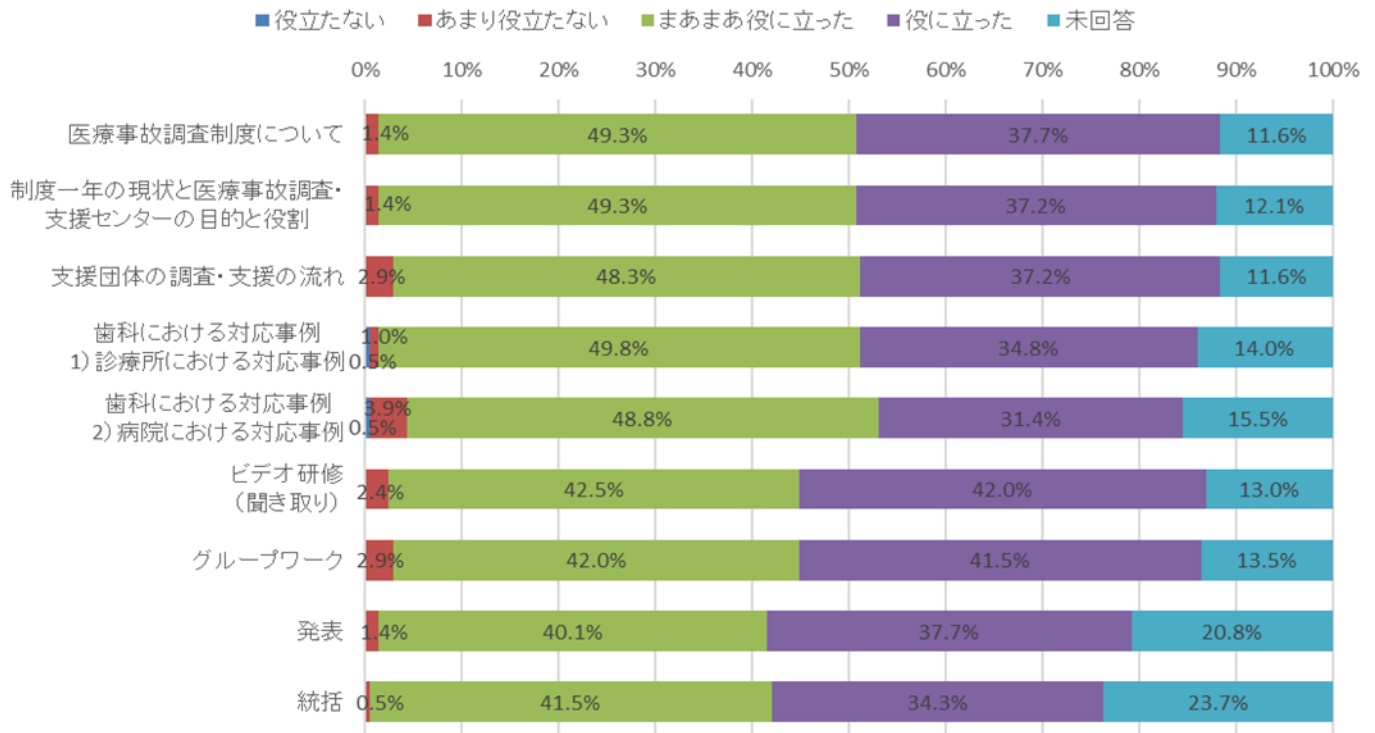
(Q7) 本研修は第1回目の開催でありました。演習企画は初めての試みでしたので、いろいろな不備な点があったかと思えます。どうぞ、建設的なご意見がありましたら、ご助言よろしくお願ひいたします。(聞き取りDVD・論点整理・院内事故調査委員会・報告書等)

*本アンケートにご記入いただいた内容は、匿名性に留意したうえで、平成28年度厚生労働行政推進調査事業「医療事故調査制度の実施状況に関する研究」等の資料として活用させていただく場合があります。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

理解度(全2カ所 N=207)



有用度(全2カ所合計 N=207)



資料Ⅱ-2a

支援団体統括者セミナー（日本医師会）〈前期〉アンケート
平成 28 年 12 月 7 日（水）

データ提供： 一般社団法人 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）

支援団体統括者セミナー
プログラム

【前期】平成28年12月7日（木）10：00～17：30

時間	内容	講師
10:00～10:10	開講挨拶	日本医師会 会長 横倉義武
10:10～10:30	医療事故調査制度の概要 資料1	厚生労働省 医政局 総務課 医療安全推進室長 名越究
10:30～11:30	医療事故報告における判断 ①演習 資料2	日本医療安全機構 顧問 山口徹 山王メディカルセンター血管病センター長 宮田哲郎
11:30～11:50	医療事故報告における判断 ②講義 資料3	日本医療安全調査機構 常任理事 木村壯介
11:50～12:50	昼 食 休 憩	
12:50～13:40	初期対応と情報の収集・整理 資料4	北海道大学病院 医療安全管理部長 南須原康行
13:40～14:30	院内調査の方法と調査結果報告書のまとめ方 資料5	名古屋大学附属病院 副院長 長尾能雅
14:30～15:20	支援団体の支援の在り方・具体的内容について 資料6	福岡県医師会 副会長 上野道雄
15:20～15:30	休 憩	
15:30～17:00	演習 調査報告書をレビューする 資料7	上野道雄 / 宮田哲郎 南須原康行 長尾能雅 山口 徹 木村壯介
17:00～17:20	質疑応答・まとめ 次回に向けた課題の説明	上野道雄 / 宮田哲郎 他
17:20～17:30	閉講挨拶	日本医師会 常任理事 今村定臣

進行：日本医師会 常任理事 **今村定臣**

支援団体統括者セミナー アンケート（前期）

「セミナー」を充実させるために、参加者の皆様のご意見を参考にさせていただきたいと思っております。以下のアンケートへご回答の上、お帰りの際に受付の回収箱に投入して下さい。

★必ずご記入ください

都道府県名 （ 都・道・府・県）

（Q1）本セミナー（前期）のそれぞれの講義・演習の理解度についておたずねします。下記の番号の中からあてはまる番号に○をつけて下さい。

前期 講義名	理解 できなかった	あまり理解 できなかった	まあまあ 理解できた	理解 できた
医療事故調査制度の概要	1	2	3	4
医療事故報告における判断 ①演習	1	2	3	4
医療事故報告における判断 ②講義	1	2	3	4
初期対応と情報の収集・整理	1	2	3	4
院内調査の方法と調査結果報告書のまとめ方	1	2	3	4
支援団体の支援のあり方・具体的内容について	1	2	3	4
演習①院内調査委員会の構成検討	1	2	3	4
演習②調査報告書作成の実際（レビュー）	1	2	3	4

（Q2）本セミナー（前期）のそれぞれの講義・演習の有用度についておたずねします。今後の支援団体の活動にどの程度役立つと思われるか。下記の番号であてはまるものに○をつけて下さい。

前期 講義名	役立つ ない	あまり 役立つ ない	まあまあ 役立つ	役立つ
医療事故調査制度の概要	1	2	3	4
医療事故報告における判断 ①演習	1	2	3	4
医療事故報告における判断 ②講義	1	2	3	4
初期対応と情報の収集・整理	1	2	3	4
院内調査の方法と調査結果報告書のまとめ方	1	2	3	4
支援団体の支援のあり方・具体的内容について	1	2	3	4
演習①院内調査委員会の構成検討	1	2	3	4
演習②調査報告書作成の実際（レビュー）	1	2	3	4

（裏面に続きます）

(Q3) 本セミナー(前期)を受けて、医療安全の推進のために明日から実践できそうなことはな
んですか。

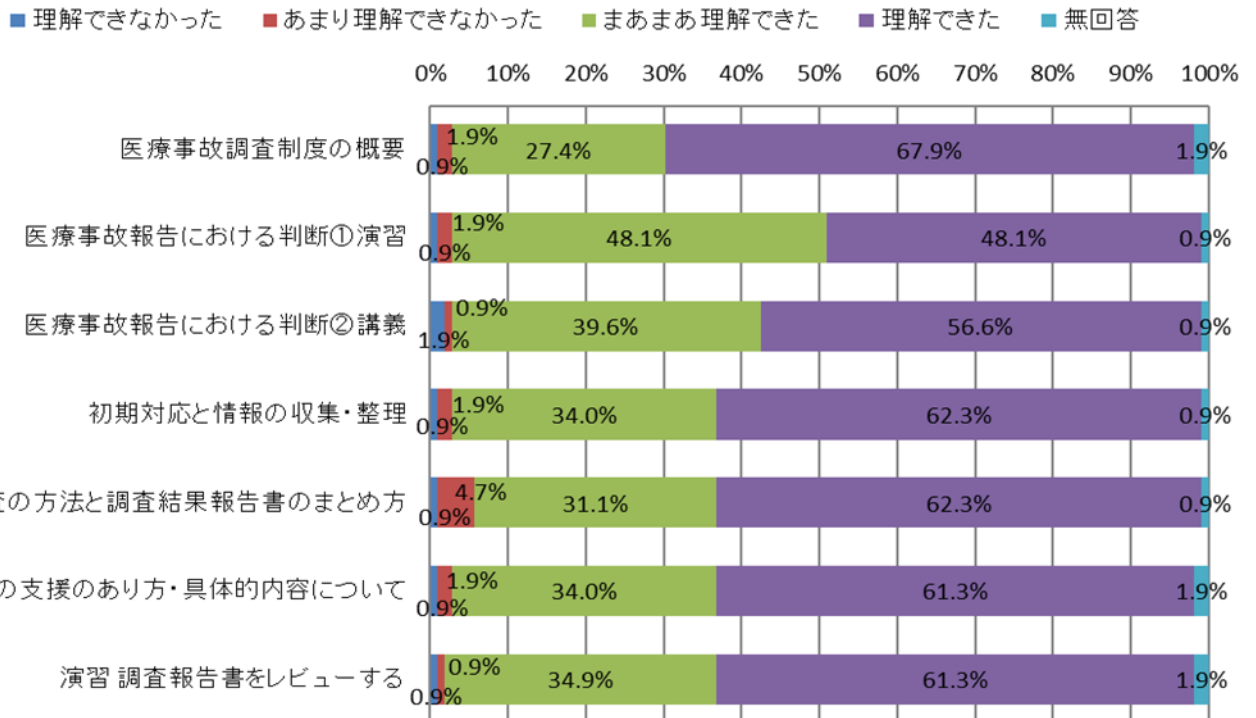
(Q4) 本セミナー(前期)の内容について、ご質問がありましたらお聞かせください。

(Q5) 本セミナー(前期)の進行・運営等について、ご意見がありましたらお聞かせください。

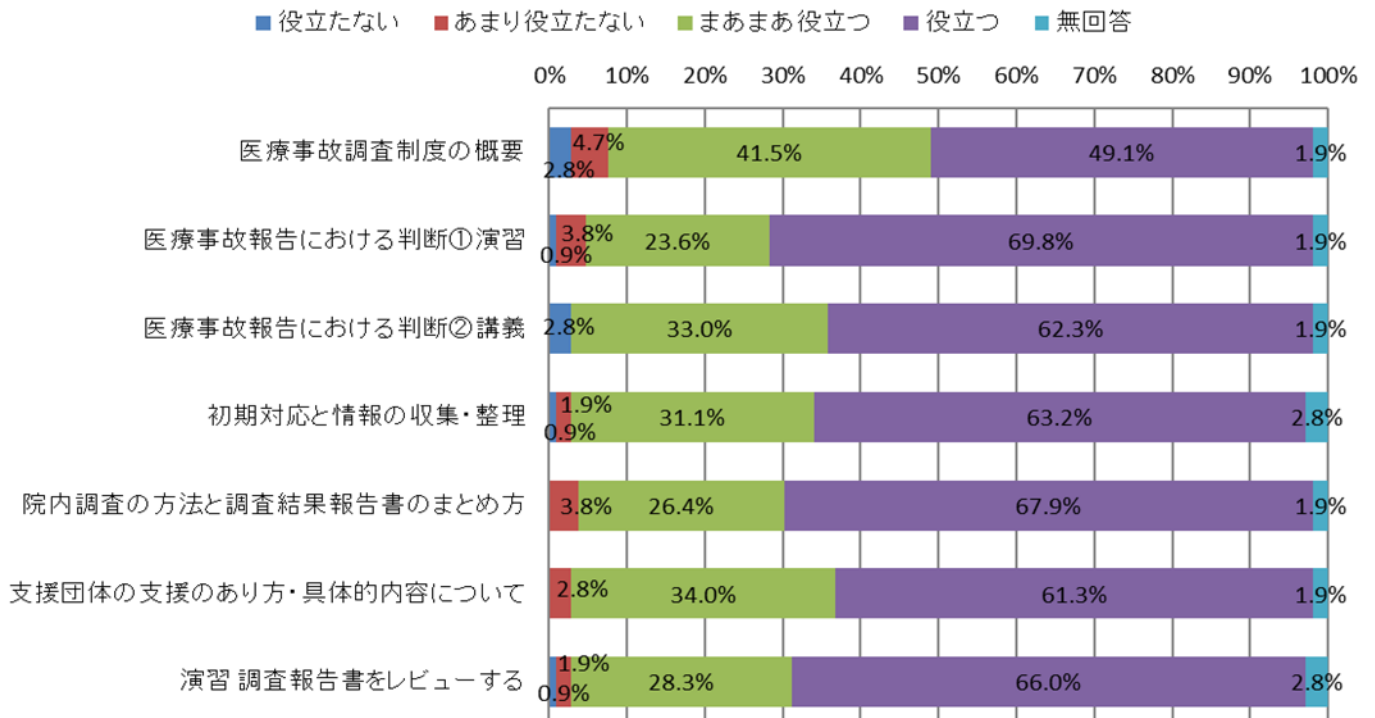
(Q6) 医療事故調査制度に関して、日頃お悩みの点がありましたら、お聞かせください。

*本アンケートにご記入いただいた内容は、匿名性に留意したうえで、よりよいセミナーを実施するために、平成28年度地域医療基礎開発推進事業「医療事故調査制度の実施状況に関する研究」等の資料として活用させていただきます。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

理解度 (N=106)



有用度 (N=106)



資料Ⅱ-2b

支援団体統括者セミナー（日本医師会）〈後期〉アンケート
平成 29 年 2 月 23 日（木）

データ提供： 一般社団法人 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）

支援団体統括者セミナー
プログラム

【後期】平成29年2月23日（木）13：00～17：30

時間	内容	講師
13:00～13:05	開講挨拶	日本医師会
13:05～13:15	導入	福岡県医師会 副会長 上野道雄
13:15～14:00	《演習1》 事実の確認／臨床経過のまとめ方	北海道大学病院 医療安全管理部長 南須原康行
14:00～15:00	《演習2》 事例の分析SGD (small group discussion)	山王メディカルセンター血管病センター長 宮田哲郎
15:00～15:10		休憩
15:10～16:00	《討議1》 事例1の分析	福岡県医師会 副会長 上野道雄
16:00～16:50	《討議2》 事例2の分析	名古屋大学附属病院 副院長 長尾能雅
16:50～17:10	まとめ	日本医療安全調査機構 顧問 山口徹 他
17:10～17:20	ワークブックについて	日本医療安全調査機構 常任理事 木村壯介
17:20～17:30	閉講挨拶	日本医師会 常任理事 今村定臣

進行：日本医師会 常任理事 **今村定臣**

支援団体統括者セミナー アンケート（後期）

「セミナー」を充実させるために、参加者の皆様のご意見を参考にさせていただきたいと思っております。以下のアンケートへご回答の上、お帰りの際に受付の回収箱に投入して下さい。

★必ずご記入ください

都道府県名 （ 都・道・府・県）

（Q1）本セミナー（後期）のそれぞれの講義・演習の理解度についておたずねします。下記の番号の中からあてはまる番号に○をつけて下さい。

後期 講義名	理解 できなかった	あまり理解 できなかった	まあまあ 理解できた	理解 できた
①演習1 事実の確認／臨床経過のまとめ方	1	2	3	4
①演習2 事例の分析 SGD	1	2	3	4
②討議1 事例1の分析	1	2	3	4
②討議2 事例2の分析	1	2	3	4
③まとめ	1	2	3	4
③ワークブックについて	1	2	3	4

（Q2）本セミナー（後期）のそれぞれの講義・演習の有用度についておたずねします。今後の支援団体の活動にどの程度役立つと思われるか。下記の番号であてはまるものに○をつけて下さい。

後期 講義名	役立たない	あまり 役立たない	まあまあ 役立つ	役立つ
①演習1 事実の確認／臨床経過のまとめ方	1	2	3	4
①演習2 事例の分析 SGD	1	2	3	4
②討議1 事例1の分析	1	2	3	4
②討議2 事例2の分析	1	2	3	4
③まとめ	1	2	3	4
③ワークブックについて	1	2	3	4

（裏面に続きます）

(Q3) 本セミナー（後期）を受けて、医療安全の推進のために明日から実践できそうなことはなんですか。

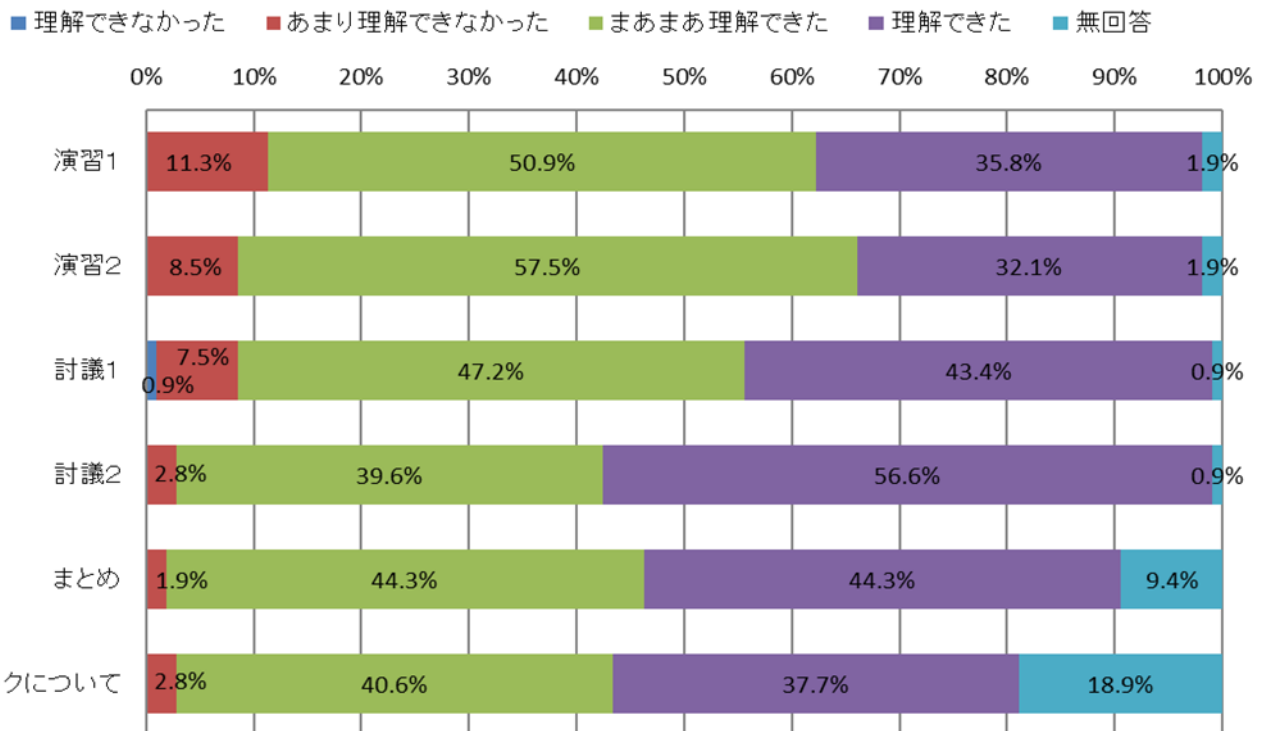
(Q4) 本セミナー（後期）の進行・運営等について、ご意見がありましたら、お聞かせください。

(Q5) ワークブックの内容や今後の取り扱いについて、ご意見がありましたら、お聞かせください。

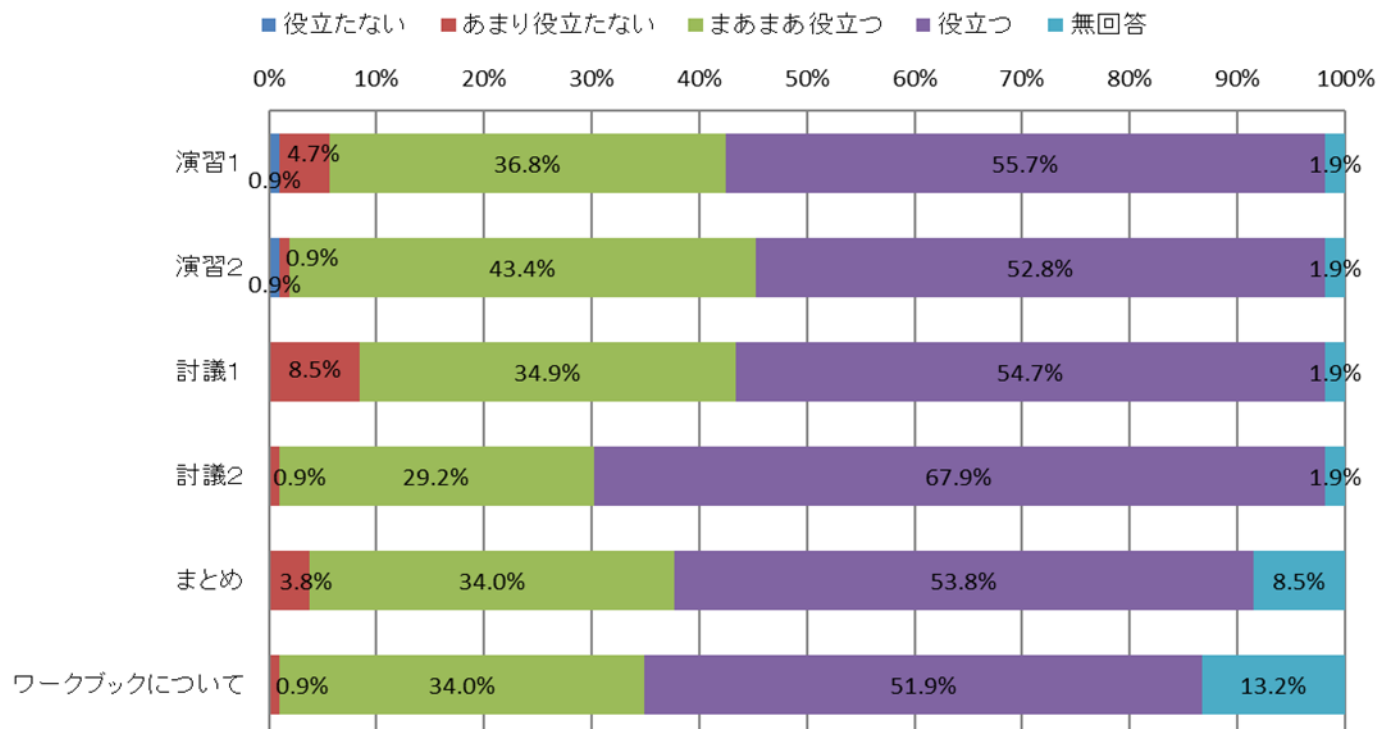
(Q6) 今後の研修に取り入れてほしいことがありましたら、お聞かせください。

*本アンケートにご記入いただいた内容は、匿名性に留意したうえで、よりよいセミナーを実施するために、平成28年度地域医療基礎開発推進事業「医療事故調査制度の実施状況に関する研究」等の資料として活用させていただく場合があります。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

理解度 (N=106)



有用度 (N=106)



資料Ⅱ-3

医療事故調査制度にかかる「トップセミナー」（日本医師会） アンケート

平成29年1月16日（月）	東京
平成29年1月25日（水）	名古屋
平成29年2月 2日（木）	大阪
平成29年2月 8日（水）	北海道
平成29年2月20日（月）	岡山
平成29年3月 1日（水）	宮城
平成29年3月 8日（水）	福岡

データ提供： 一般社団法人 日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）

プログラム

時間	内容	講師
13:00～13:15	開講挨拶	日本医師会 常任理事 今村定臣
13:10～13:30	医療事故調査制度の概要	厚生労働省 医政局 総務課 医療安全推進室長 名越究
13:30～14:25	医療事故報告における判断①演習	日本医療安全調査機構 (医療事故調査・支援センター) (会場により異なります)
14:25～14:45	医療事故報告における判断②整理	日本医療安全調査機構 (医療事故調査・支援センター) 常務理事 木村壯介
14:45～14:55	休憩	
14:55～15:20	医療事故調査制度の要点	日本医療安全調査機構 (医療事故調査・支援センター) (会場により異なります)
15:20～16:20	医療事故調査制度における医療機関管理者の役割	日本医師会医療安全対策委員会副委員長 (福岡県医師会副会長) 上野道雄
16:20～16:30	休憩	
16:30～17:00	調査実務担当者の視点から	調査経験者 (会場により異なります)
17:00～17:25	質疑応答、まとめ	日本医師会 上野道雄 他
17:25～17:30	まとめ 閉講挨拶	日本医師会医療安全対策委員会委員長 (広島県医師会会長) 平松恵一

進行：日本医師会 常任理事 **今村定臣**

※会場ごとに講師が異なる講義について、詳しくは申込ホームページをご覧ください。

※講義タイトル・講師は当日までに変更になる場合があります。

医療事故調査制度にかかる「トップセミナー」 アンケート

本日は、ご参加いただきましてありがとうございます。事務局では、今後の「セミナー」を充実させるために、参加者の皆様のご意見を参考にさせていただきたいと思っております。以下のアンケートへご回答の上、お帰りの際に受付の回収箱に投入して下さい。

★以下の二重線枠内は必ずご記入ください

都道府県名 （ 都・道・府・県）

（Q1）本セミナーのそれぞれの講義の理解度についておたずねします。下記の番号の中からあてはまる番号に○をつけて下さい。

講義名	理解 できなかった	あまり理解 できなかった	まあまあ 理解できた	理解 できた
医療事故調査制度の概要	1	2	3	4
医療事故報告における判断 ①演習	1	2	3	4
医療事故報告における判断 ②整理	1	2	3	4
医療事故調査の要点	1	2	3	4
医療事故調査制度における医療機関管理者の役割	1	2	3	4
調査実務担当者の立場から	1	2	3	4
質疑応答、まとめ	1	2	3	4

（Q2）本セミナーのそれぞれの講義の有用度についておたずねします。下記の番号の中からあてはまる番号に○をつけて下さい。

講義名	役立たない	あまり 役立たない	まあまあ 役立つ	役立つ
医療事故調査制度の概要	1	2	3	4
医療事故報告における判断 ①演習	1	2	3	4
医療事故報告における判断 ②整理	1	2	3	4
医療事故調査の要点	1	2	3	4
医療事故調査制度における医療機関管理者の役割	1	2	3	4
調査実務担当者の立場から	1	2	3	4
質疑応答、まとめ	1	2	3	4

（裏面に続きます）

(Q3) 本セミナーを受けて、医療安全の推進のために明日から実践できそうなことはありますか。

(Q4) 報告すべき事例について、判断に迷ったご経験はありますか。

迷った経験 ⇒ ない ・ ある

「ある」に○を付けた方は、どのような点で迷ったか、以下にご記載ください。

迷った点:

これらは本セミナーの受講で解決できましたか。下記のあてはまるものに○をつけてください。

1 参考にならなかった 2 あまり参考にならなかった 3 まあまあ参考になった 4 参考になった

(Q5) 本セミナー内容について、ご質問がありましたら、お聞かせください。

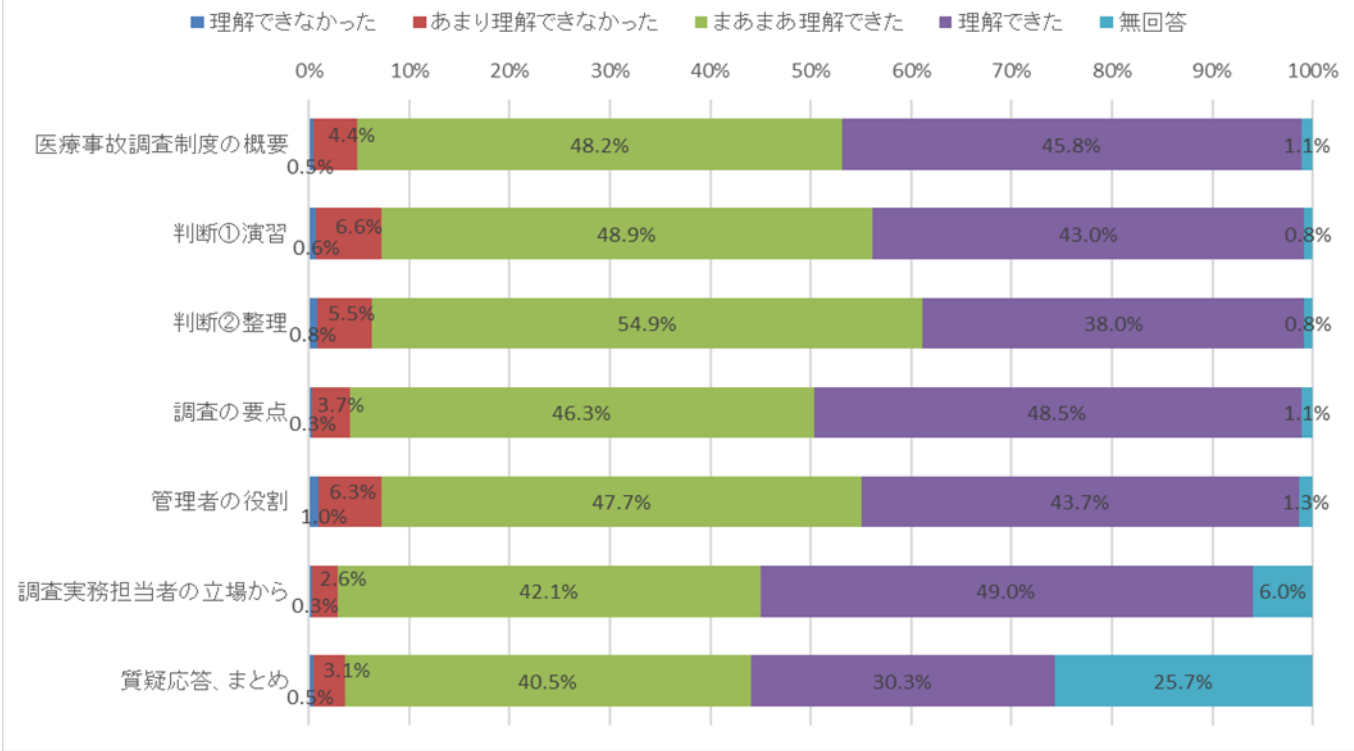
(Q6) 本セミナーの進行・運営等について、ご意見がありましたら、お聞かせください。

(Q7) 医療事故調査制度に関して、日頃お悩みの点がありましたら、お聞かせください。

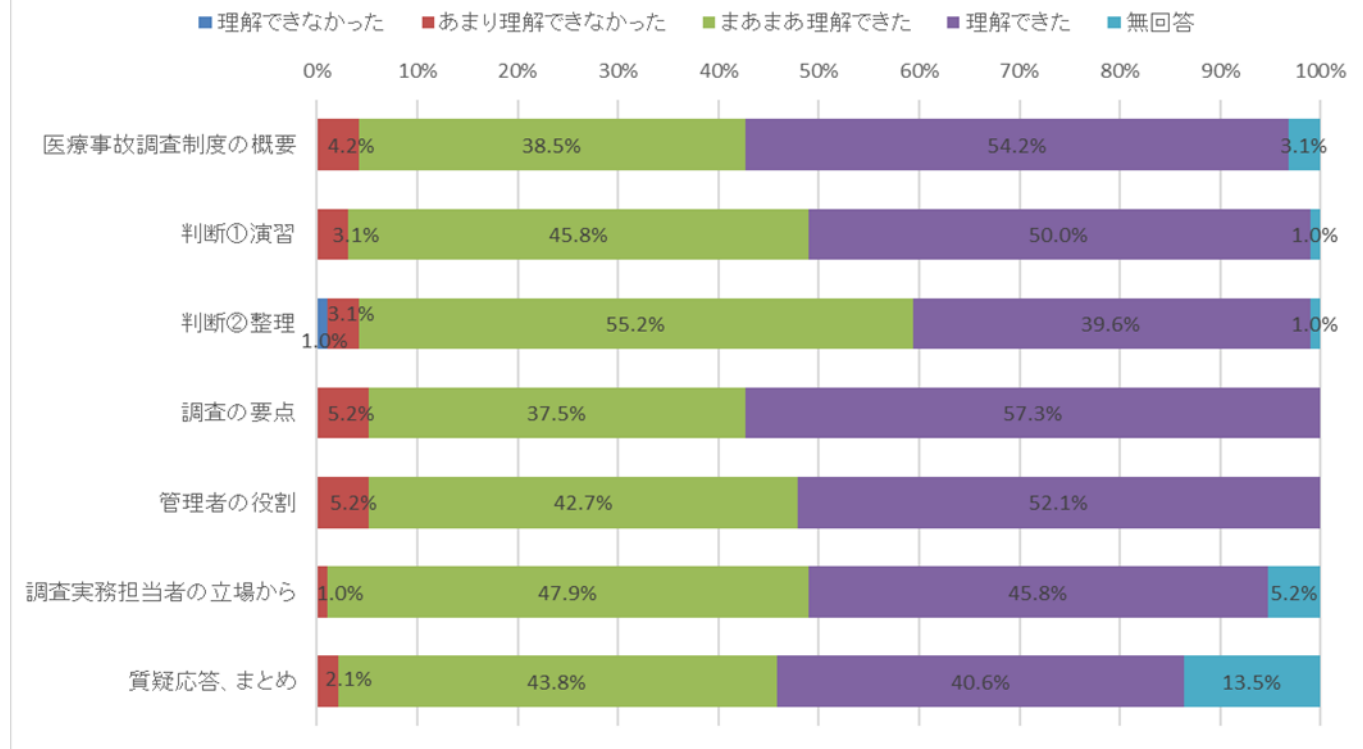
* 本アンケートにご記入いただいた内容は、匿名性に留意したうえで、よりよいセミナーを実施するために、平成28年度地域医療基礎開発推進事業「医療事故調査制度の実施状況に関する研究」等の資料として活用させていただきます。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

ご協力ありがとうございました。

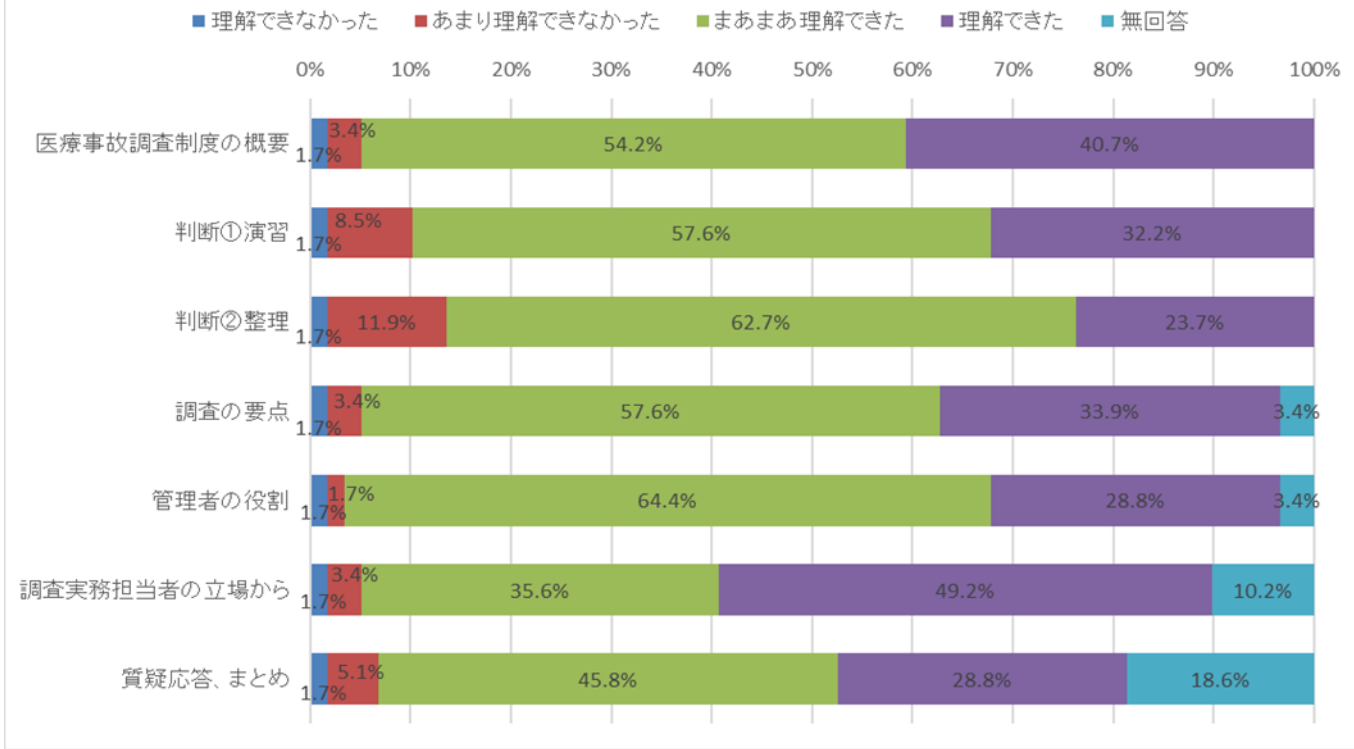
理解度(全体N=618)



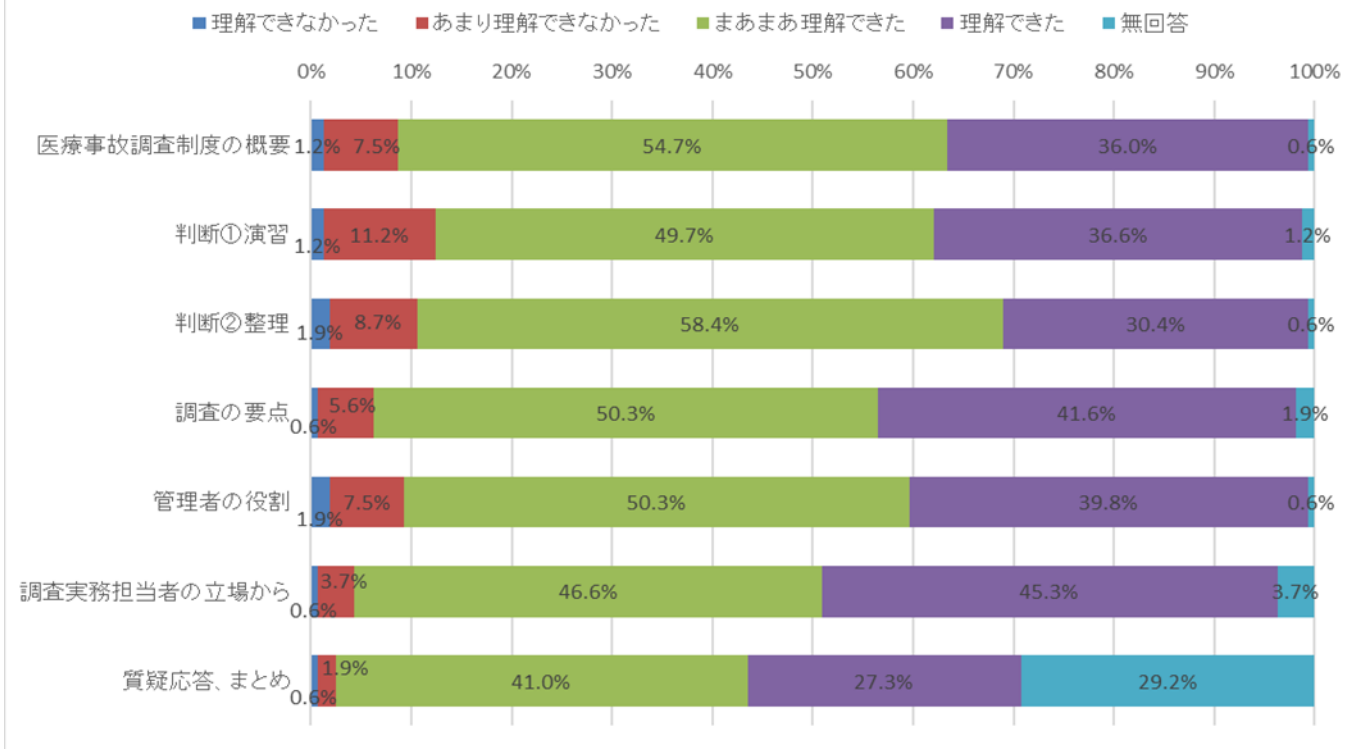
理解度(東京会場N=96)



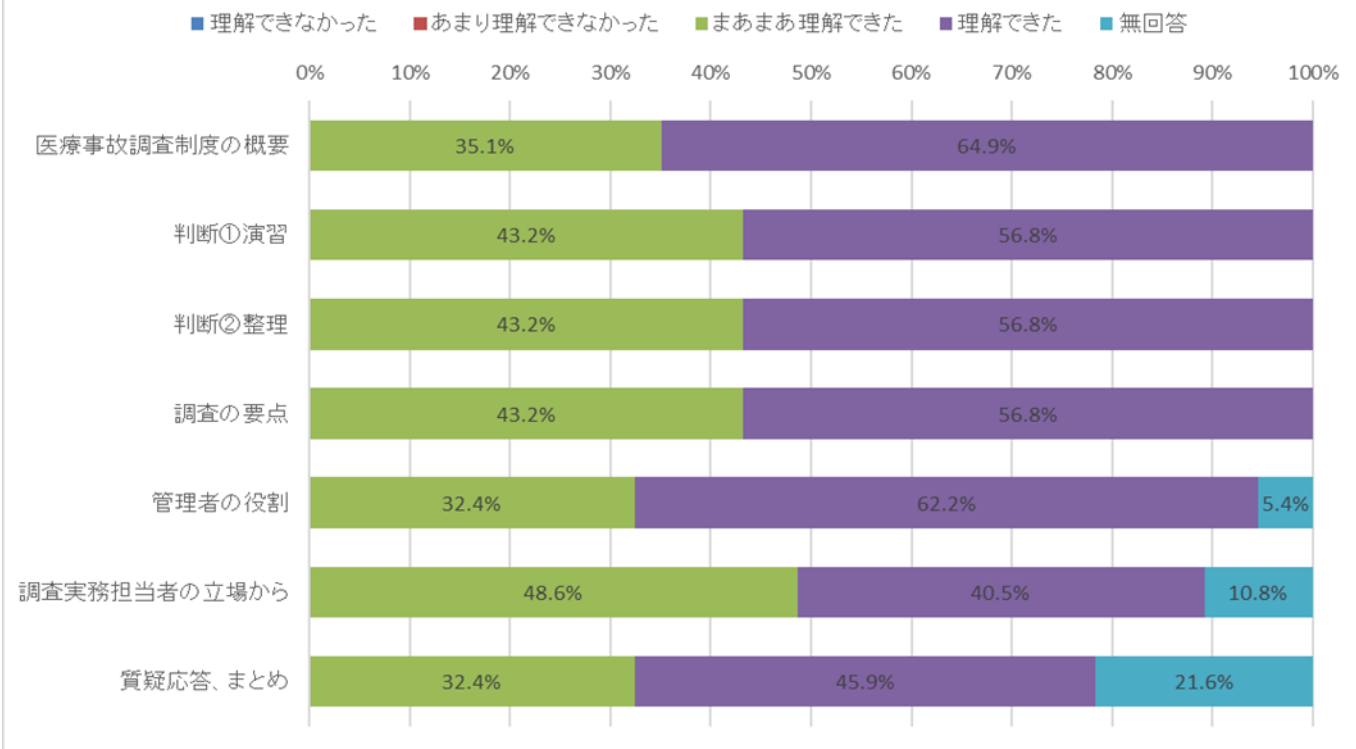
理解度(名古屋会場N=59)



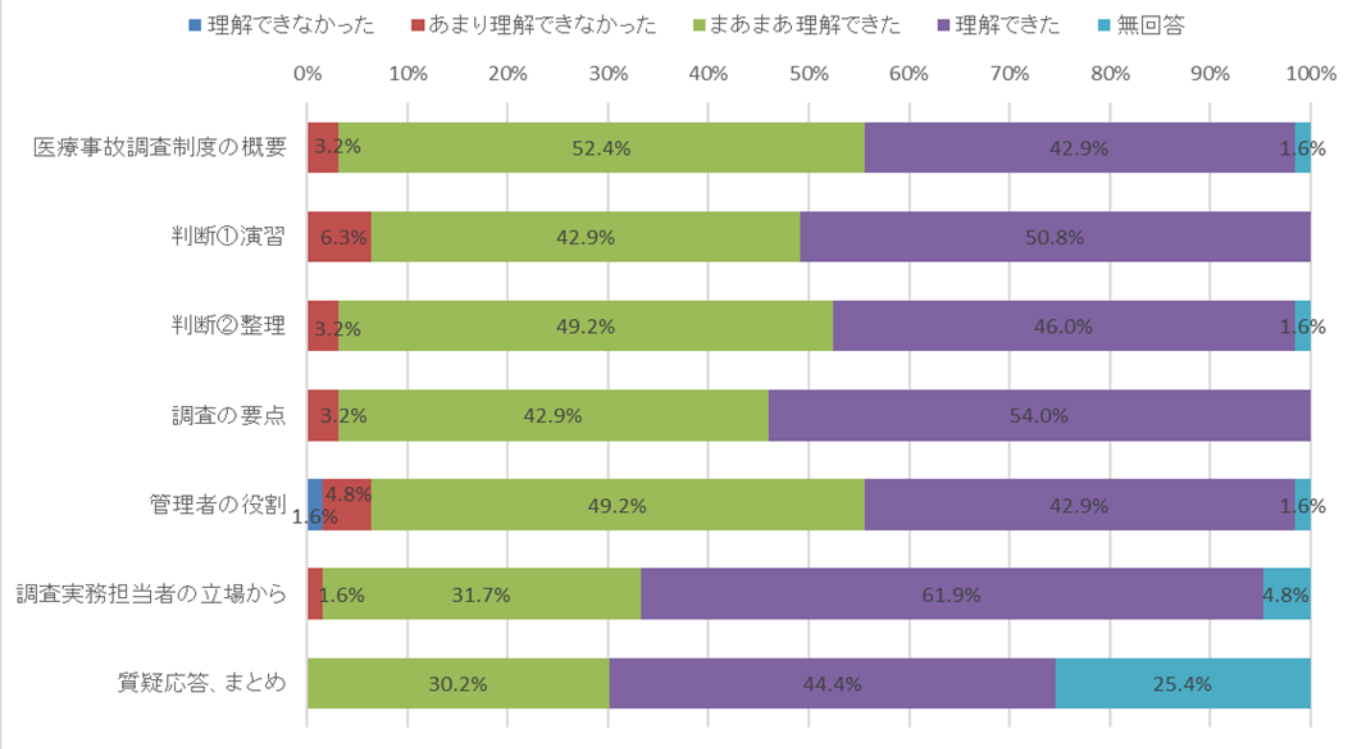
理解度(大阪会場N=161)



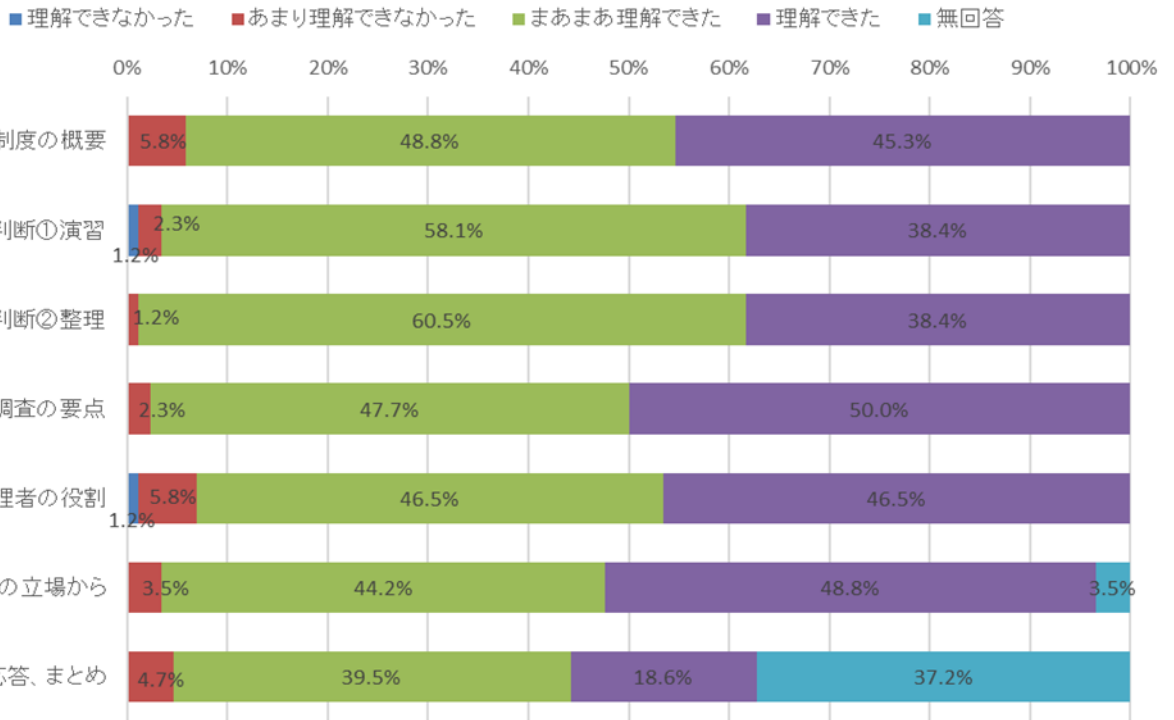
理解度(札幌会場N=37)



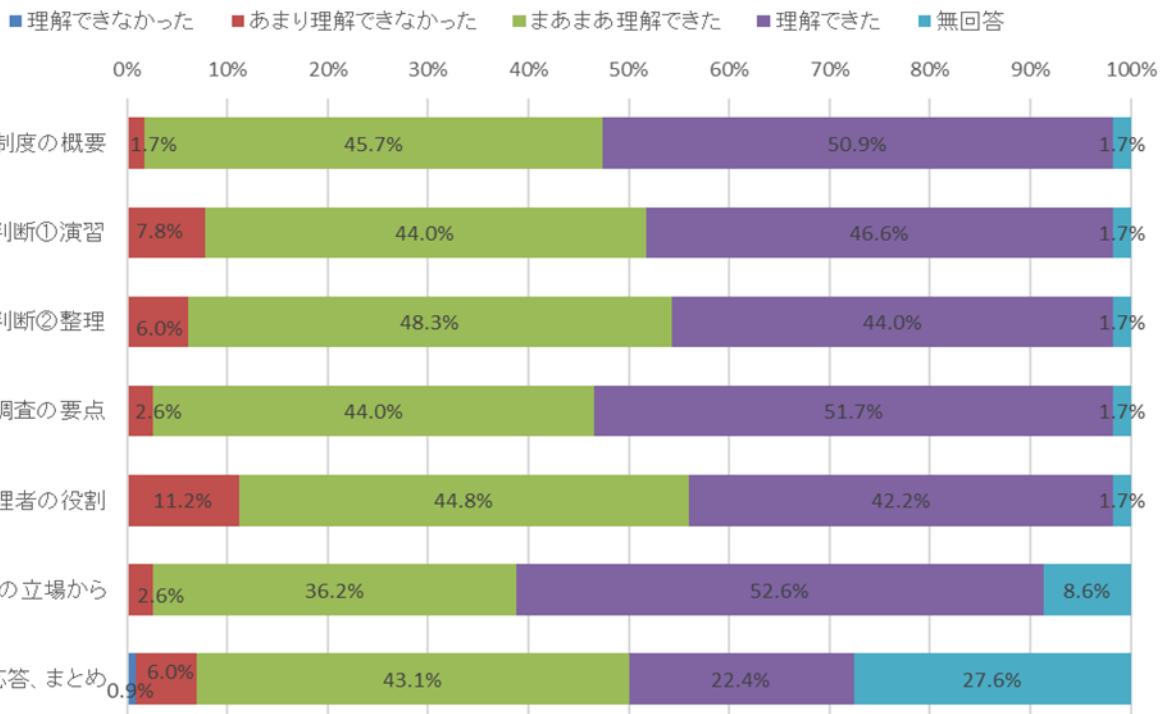
理解度(岡山会場N=63)

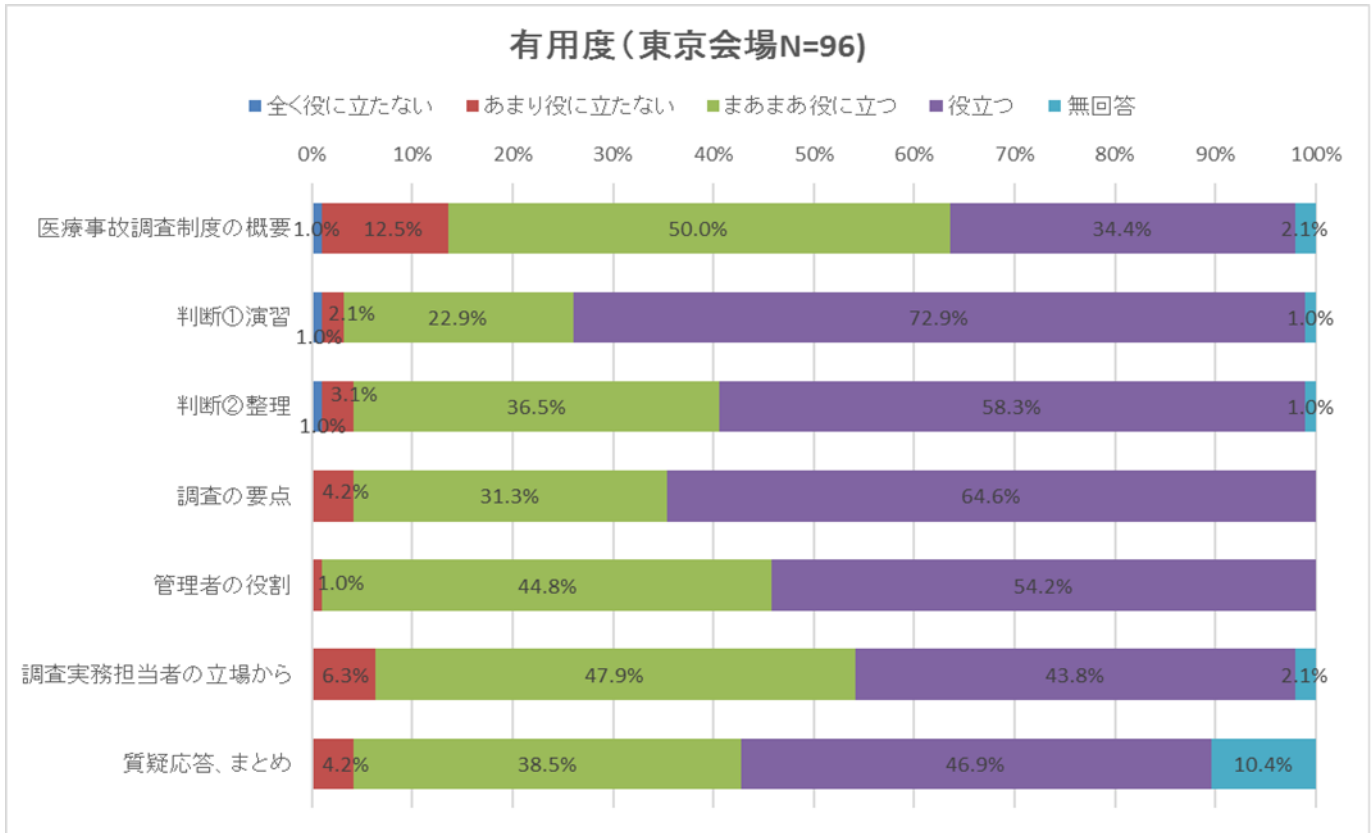
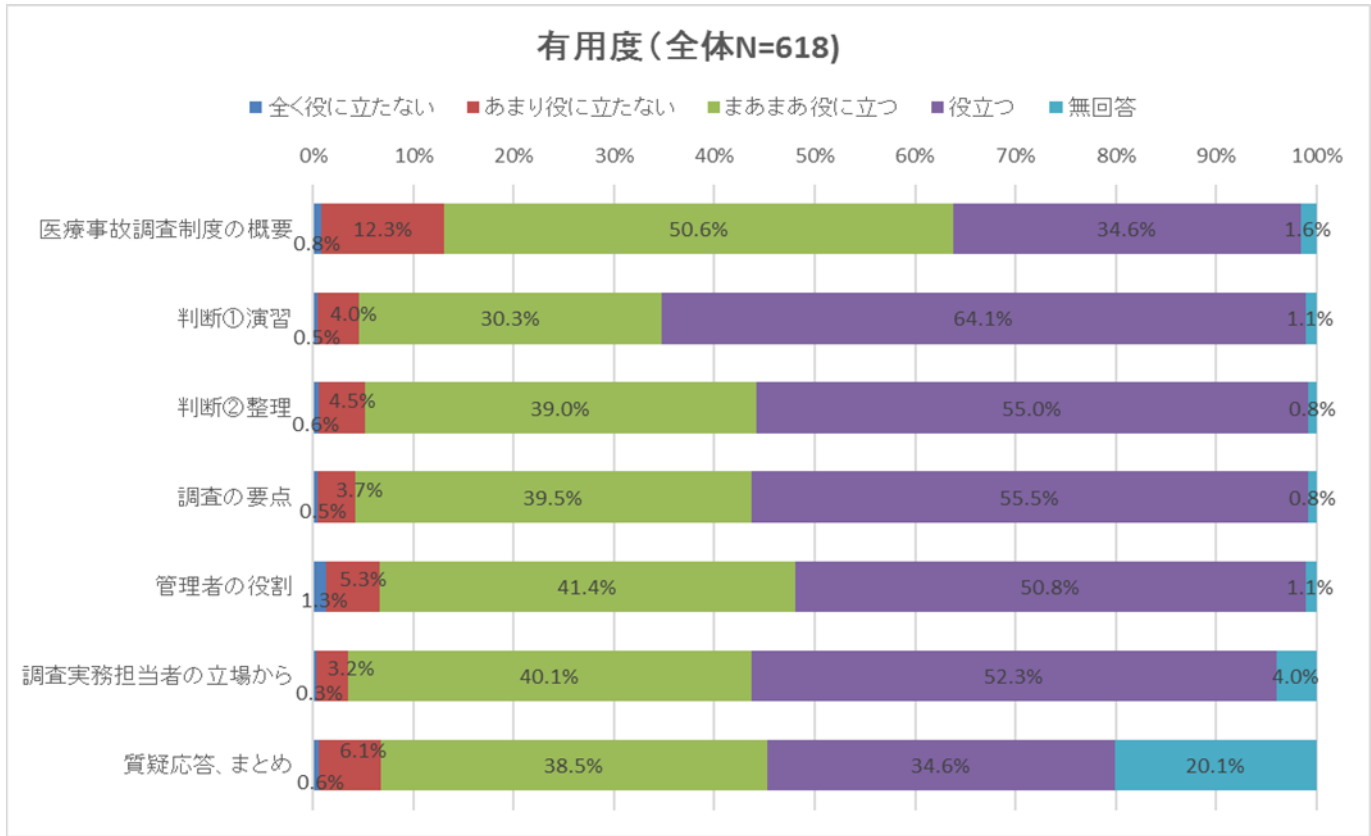


理解度(仙台会場N=86)

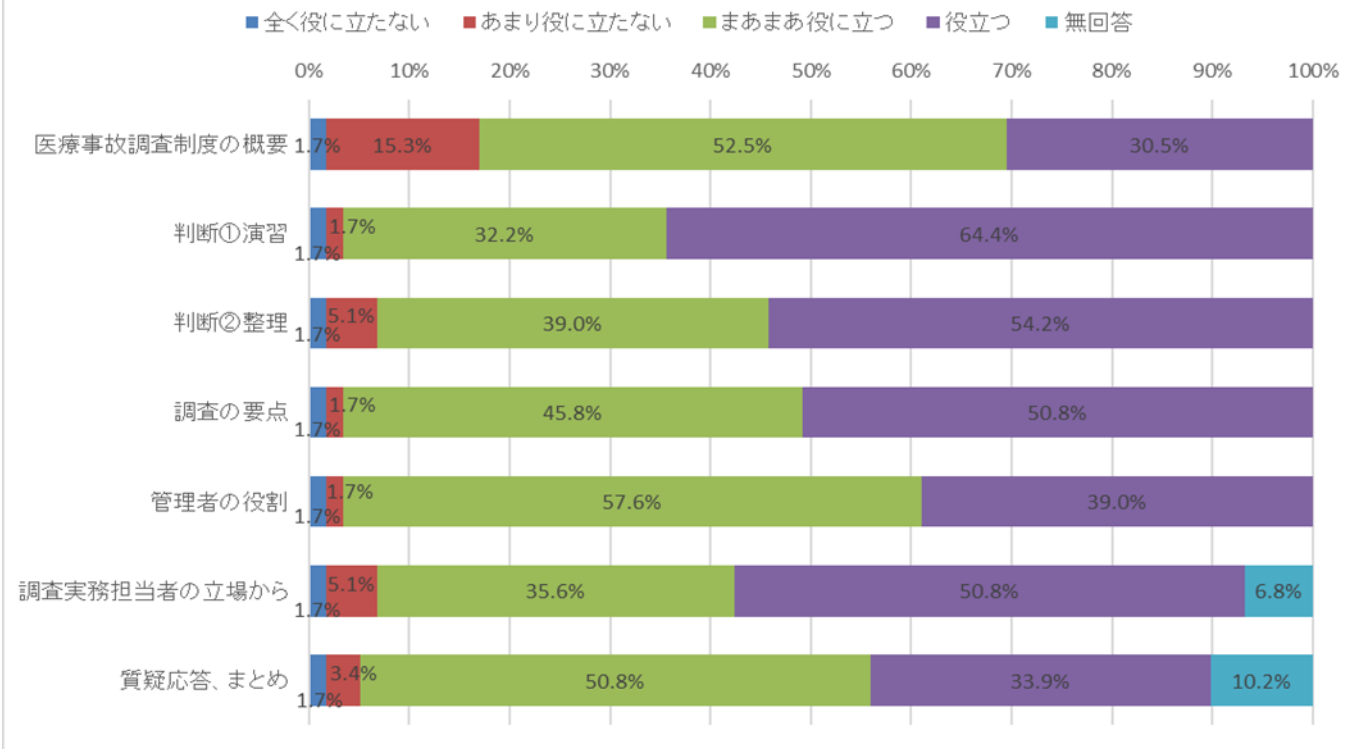


理解度(福岡会場N=116)

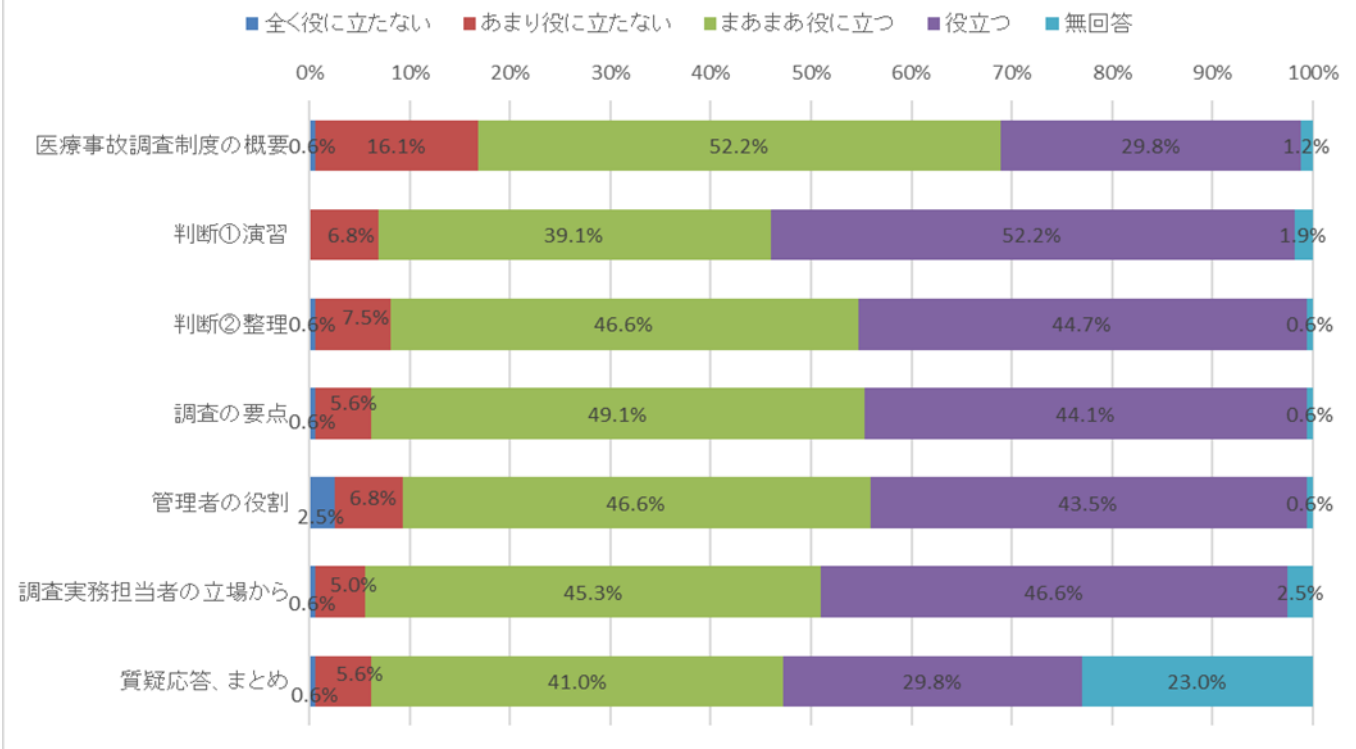




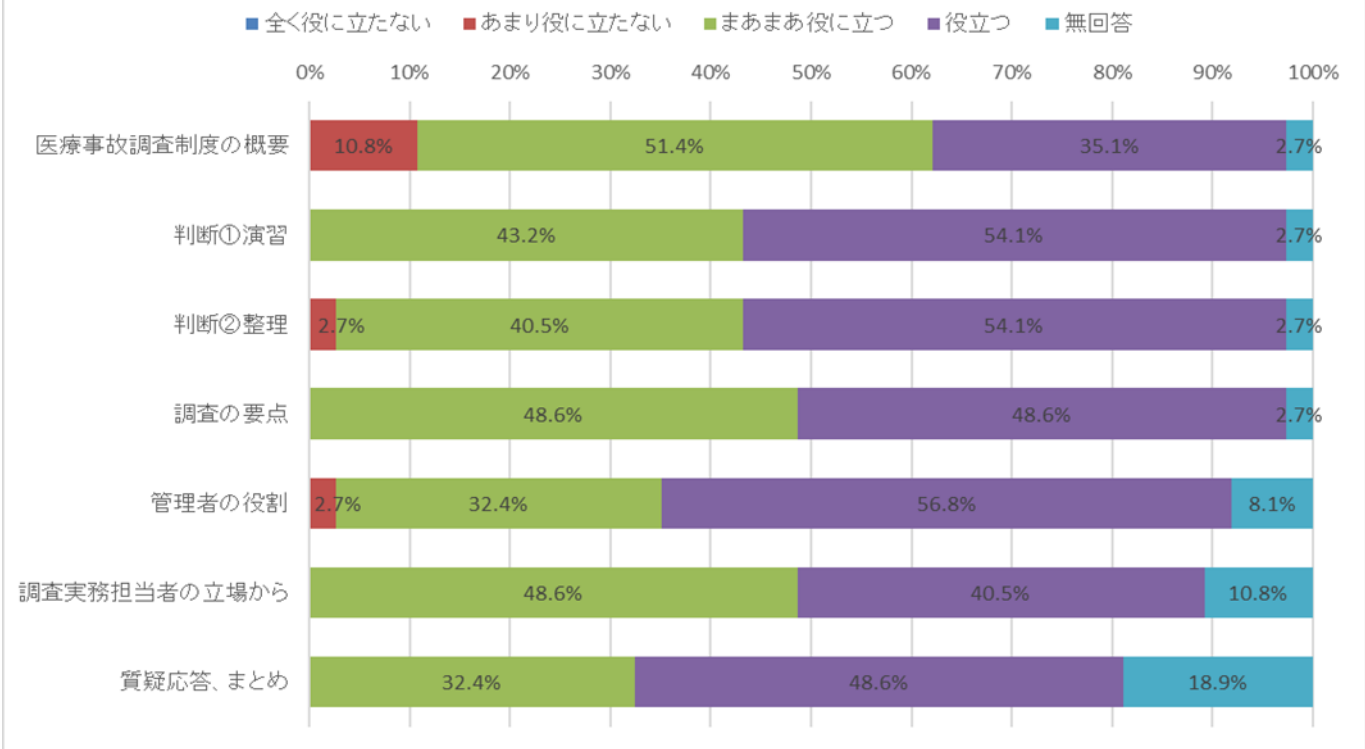
有用度(名古屋会場N=59)



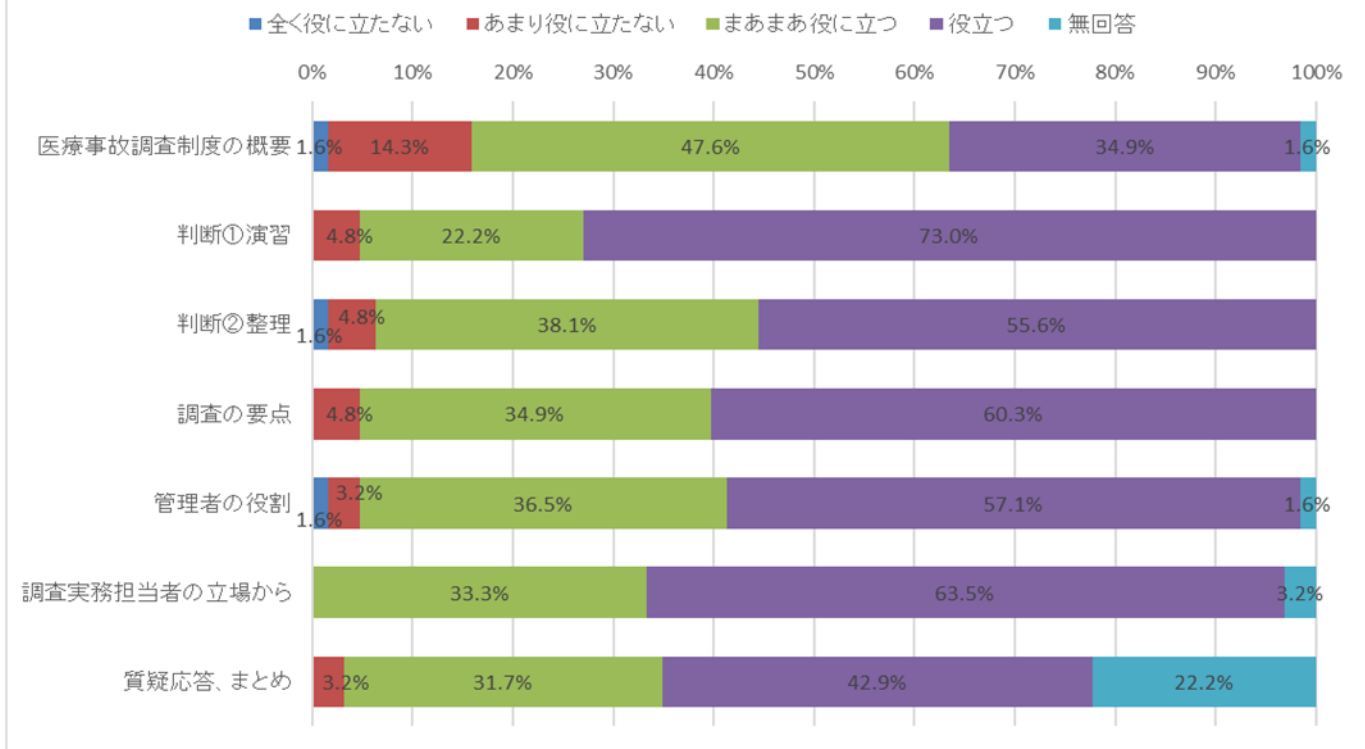
有用度(大阪会場N=161)



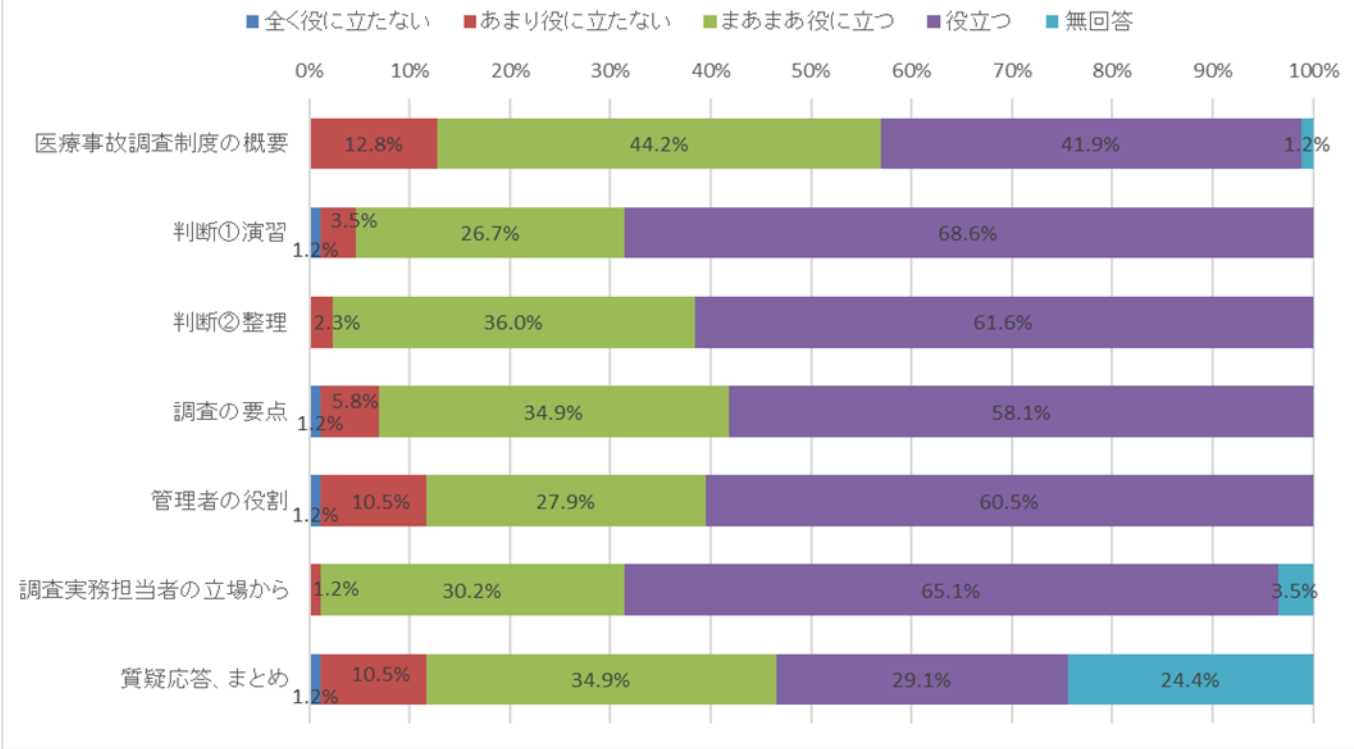
有用度(札幌会場N=37)



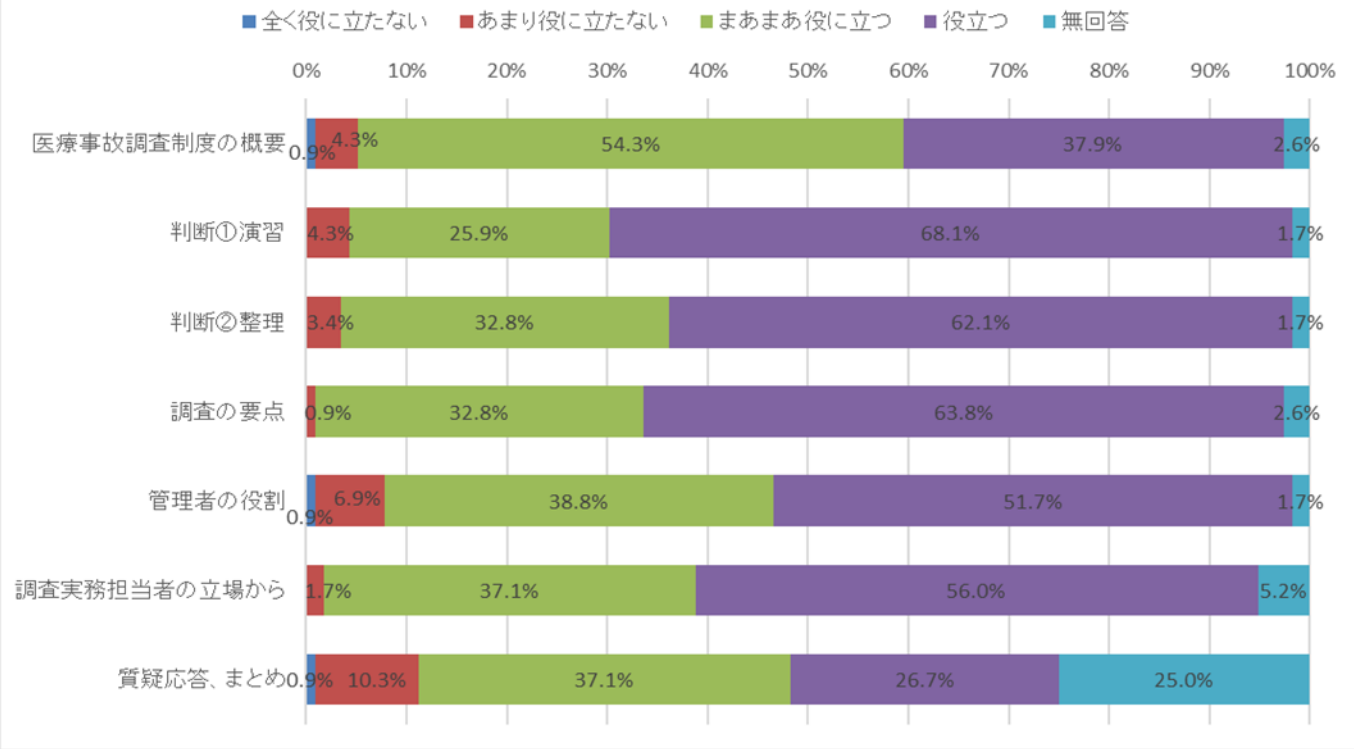
有用度(岡山会場N=63)



有用度(仙台会場N=86)



有用度(福岡会場N=116)



(Q 4) 報告すべき事例について、判断に迷ったご経験はありますか。

